

ゆきのん
アゲイン。

R-18 adult only

presented by studio A.







来週には無事
登校できるそうよ

先ほど起きたばかりの
由比ヶ浜さんからの
連絡が届いているわ

あ
そう…

じゃあ見舞いは
必要ないか
帰りに行くこと思ったが

まず…



おごごご

今朝登校中に
メールを
もらったわ

あなたより私の方が
早女の休みを知るのは

あんかど

確かに俺もHRが
始まってから
気づいたんだが

普段メールボックス
なんて確認しねえし…
誰も出してこない

コト…



他人を思いやる
だなんてずいぶんと
殊勝な心がけね

比企谷くんはもっと
冷酷な男とばかり
思っていたわ

そりゃ
めんどくさい男の
間違いだ





おなかを出して
寝ていたのが
原因かもと
言っていたわ



全然知らなかったぞ



実際のところ最近流行りのインフルエンザが原因なようね

私たちが見舞いに行かないのは正解だわ



その傷つく
言い方やめろよ...
おまえたって似た
ようなもんじゃねえか

他人と仲良くなる
術を知らない
比企谷くんは友達
がないものね

そうよね



H/Rや保健便りや注意喚起は必ずなされているはずだけれど... 比企谷くんは世間のニュースにも全く無頓着そうよね

別にそんなので知ったところで人生の糧にはならない

他人と世間話するわけでもなし



相手の顔が見えないのは短文から相手の心情を推察するしかないから

間違っていた時が大変なのよね！

そりやリアルのコミュニケーションは古文の授業とは違うからな



じゃあ今から由比ヶ浜とSNSでもするか？

あいつ一人放っておくと後で何か言われそうだし



その…
？

そうだけれど…



それに私達がここでSNSを始めたらあなたがそばにいるのに二人とも無言で携帯の画面を見ているのは奇妙じゃないかしら

それもそうだが普段本読んでるのと変わらん



部屋に二人で居る
こうした機会って
いうのはその

少ないから…

別に今じゃなくても
由比ヶ浜とやりとり
する機会はいくら
でもあるしな

そうね…

………
背中がムズムズする…



かと言ってうちの
カマクラや猫の話
ばかりしても
しょうがないだろ
恋人みたいに

絵面が想像
できないわね…



この場所であなたと
二人きりだと
いざ何を話せばいいの
か
話題に詰まるわね



私は比企谷くんと
すでにそういう
つもりでいるけれど



でも



卒業するまではこの状態が続くしな

噂になつては
その…困るもの

あなたも私も

ガタ



…まあ

客観的に見ても
そんな関係だし俺達

人前で見せてないだけで

かあ

だからその…
そうした振る舞いを
あなたが望むのなら
私も構わないわ



俺もよく
わからんけど

彼氏と彼女
つてのは

そういうもの
なんじゃねえの

ようこちゃん



クス

彼氏のふりだとも
隣を歩いているのに
気にならないのにも

本物だと鼓動が
収まらないのは
何故でしょうね



比企谷くん
近い！

由比ヶ浜に距離
詰められると
いつも困った顔
してるの面白いから
ちよつと俺も
してみたくなった



意地悪なこと言わないで
くれるかしら？

それに校内で
不順異性行為なんて

いやそこまで
考えてないし

単に手を重ねる
ぐらいのスキン
シップをだな！



そ
そんな意味で
言っていないわ
やっぱり比企谷
くんは変態ね

勝手に妄想してるのは
おまえのほうだろ！



ちよつと
比企谷くん…

雪ノ下が
モノ欲しそうな
顔してたから
つい思わず



っ…?

じゃなくて
こんなところで
人が来たら…

平塚先生も
今居ないから
ここに相談に来る
生徒もいない

一色も生徒会で
最近忙しいし
大丈夫だろ

確かにあなたの
言うとおりの
だけれど

それにこんな
時じゃないと
ここで雪ノ下と
絡めないしな
肉体的に

わかったわ…

さゆ…

本の中に書かれて
いることと実践は
まるで違うのね…

なんだか体が
火照って…

指を絡ませて
唾液の交換をして
いるだけなのに

俺も…
上手く説明できな
い感じがせり上が
ってくる感じがだ

どれだけここで本を
読み耽つていても
体験しないかわから
ないあるんだろ

俺だって雪ノ下と
以外はこういうの
したことないからな
知識は無駄にあるが

じゃあお互い
手探りで探して
いきましよう

言葉通り

それは比企谷くんの
経験談かしら？

にぎ

ちゅ



人間が他人と
触れ合いたい
理由の一つ
なんじゃねえの

原罪とか
そーゆーやつ

他人に体を
触れられると
敏感になるのは
なぜかしら...?

指だけで
出そうに
なる...!!

アッ

随分哲学的な
事を語るのね
意外だわ

単純にこうして
雪ノ下の喘ぎを
耳ノ下で聴くのが
好きってだけ
なんだけども

ちよっと
比企谷くん

そんなに
されたら
下着がっ...!



はー

いい表情
雪ノ下

あなたって底意地が
悪くなる時があるのよね...

70

せー

は...



止めてと言っても聞かないでしょう？

ここもほぐれたしそろそろいいかしら

くほあ

ギニ

ギニ



アハハハ

やあ...

アハハハ

ギニ

ギニ

アハハ



まあそうだが
じゃあ
挿れるぞ

比企谷くんっ

どうした？

あの
その…

少し言いにくい
のだけれど

…コンドームは？

ない

：男性として
デリカシーの
欠片もない
のかしら…

いや待て
雪ノ下

俺にも言い
分はある



変なところで
体裁は繕うのね...

ぐ腐

ヒキオ
キモすぎ

うめ

ひよんなことから
発見されて
何期待してんだ
この引きこもり君

みたくに白い目で
見られてあつという
間にクラス中に
話が広まる



いつか
お尻は
万全だよ



第一俺みたいな人間が
財布にそんなものがない
忍ばせておくわけがない

※イメージです



そもそもおまえだって
持っていないじゃないか

そっそれは...

そんなもの期待して
学問の場に足を運ぶ
訳はないでしょう?

確かにそりゃ
そうだが
雪ノ下なら



そんなイレギュラーな
中で結合したら
興奮するよな...

お尻!



あなたって
本当に性格が
悪いのねっ...!



実に雪ノ下らしくて
いいじゃねえか
鉄仮面っ感じで

私はそこまで
冷酷な女では
ないつもり
だけれど



雪ノ下の膣内は
いつも凄く抵抗して
処女みたいなの
締め付けだよな...



背筋を駆け抜ける
この感覚が
慣れないのよ...



この背徳感は
そういうこと

由比ヶ浜や一色が
いつも何気なく
過ごしている場所
こうして繋がってるのは
興奮するだろ？

私も比企谷君の
熱気に当てられて
いるみたい

あは
じゅあつ



知ってる
だから暖かい部分を
引きずり出したく
なるんだよなあ

擦れて
熱いつつ…!

いつもより
大きい…?

あ

ひあ



部室内に俺たちの
体液の匂いが染み
付いたりしてな

言い逃れ
できなくな
るわね…

ぢゅる
ぢゅあ
ぢゅあ

ぢゅあ



悪い電話だ

おー小町かどしたー?

なにっ川崎大志の家で勉強会するだど……!

おにいちゃんそんなの許しませんよ

ちよつと比企谷くん

激しっ……

あ

ん？今は部活

ああ



え俺が帰り送るのの？

はそつちも遅くなる？

川なんとかさんといるから大丈夫か

わかったそれじゃ

Pi!



雪ノ下が調子悪そうだな由比ヶ浜も風邪で休みだ

声漏れるっ……!



よく我慢
できたな
雪ノ下

はっ

あなたは私と
繋がって
いるところを
小町さんに知らせ
たかったの...?

はっ



変な寝め方
されると背中が
くすぐったいわ...

初めての時みたいに
荒い息で声を
押し殺してるのが
キュンときた



はっ



だいたいタイミン
がかたから少し
やろうと思っ
てな

はっ

趣味が悪いわね...



はっ

にち...

はっ

はっ



私もあなたの
気持ちを知るために
こうしているもの
そうね...

言葉にしても
うまく伝わん
ねえし...
それなら
行動で示すしか
ねえだろ



雪ノ下...

あ♡

はぁ

はぁ♡

ぎゅ!!!

おめえ...!

はぁ♡♡♡

はぁ♡

はぁ♡

しゅっ
しゅっ



身をよじって
悶えてる雪ノ下が
可愛すぎて全力で
塵出したくて
たまらない!!!

かべえ

は

ずぶ

あぁ

ずぶ

あ

ずぶ

あ



雪ノ下...
雪乃お
好きだっ...!

あ

もう止められ
ねえっ

えっ
何馬鹿な
ことっ...

避妊の準備
してないでしょう

比企谷...くん

ん

ん

ん

ん

ん...



私も好きよ
八幡...

あ

あ

あ

ヒッ

ビク

あ

あ



ケホ

顔にべつとり...

夕日の中で
ザーメンまみれに
なる雪ノ下が
見たくてつい...

きゃっ...ヨロヨロ...



んっ...

ヨロヨロ...くる...

百歩譲って
褒め言葉と
受け取って
おくれわ



：あなたって
本当に悪趣味
なのね



駅前
に停めるの
面倒だろ

土日
出かけないし
週明けに
回収する

学校に
自転車
置いたま
まで構
わないの？



雪ノ下
の家に
行くの
は久しぶ
りだな



嫌なら百均に寄って
パンツだけでも
買って

結合の最中に
汚れたんだから
しょうがないだろ
匂いもついたし



それに下着履いてない
おまえ一人を電車で
乗せられるか
盗撮の可能性も
あるのに

ちよつと

そんな人に
聞かれるような
声で話さないで

※おくづけは表紙裏へ



比企谷くん
足の甲を
割られたら
かしらたい



すみません
すみません

痛い
痛い

痛い



う
また股間が...

その後は...
朝まで二人で
居られるわね



まったく

帰宅するまで
あなたには私の
ボディガード
として振舞って
もらうわ

へへへ

ゆきのんアゲイン。(成人向)

ある冬の日、奉仕部の部室に居るのは雪ノ下雪乃と比企谷八幡の二人だけだった。由比ヶ浜結衣はインフルエンザで病欠してしまい、顧問の平塚先生は出張中。頻りに訪れる生徒会長の一色いろはも多忙で来られない、久しぶりの二人きりの時間。恋人になってそれほど時間の経っていない二人は、場の甘い空気にあてられて相手の体温を確かめ合うように絡み始める。ゴムを用意していない八幡に雪乃は怒るが、八幡は構わず生での結合を強要する。ほどよい胸、白い柔肌、処女のようにきつく締め付ける膣。そんな雪ノ下雪乃の全てを堪能しているところ、比企谷小町からの電話が…

日の落ちる下校時間まで二人が激しく絡みつきお互いを求め合う漫画20Pを収録。

発行日	2016年12月31日
発行人	稲鳴四季
ホームページ	http://inanakisiki.sblo.jp/
メールアドレス	studio.a@nifty.com
印刷所	太陽出版

無断転載、無断複製、アップロードは禁止です。インターネット上で拾った当作品のデータをアフィリエイトサイト等に掲載された場合、発覚次第速やかに対処致します。

